

黒木西

黒木西小

学校だより

文書:校長 齋藤英義

令和4年2月7日(月)

NO.21



前号で、福岡県で2646人が感染見込みであるとのコロナ速報を掲載し、感染対策の重要性を訴えてきました。しかし、あれから二週間あまりで連日5000人を超える感染者数が伝えられております。

このような状況ではあります。閣雲に恐れることなく、今できる感染対策をしっかり行い、子どもたちの学びを止めることのないようにしていかなければならないと考えております。

今回は、子どもたちの様子を見ていて今一番気になっていることを書きます。昨年度から、感染症にともなう臨時休校分散登校、外出自粛、外遊び自粛、マスク着用、友だちとの接触をできるだけ避ける等々、感染予防ということ、世の中は、そして子どもたちの生活は大きく様変わりしました。そのような窮屈な生活を少しでも緩和させるかのごとく、子どもたちの生活の中に、ゲームが大きく入り込んできているなど、いうことを最近特に感じております。

先日の研修会の中で、ドキッとする話を聞きました。校庭で遊んでいる子どもたちの会話で

「おい！、〇〇！お前が鬼ぞ！」

「はい、〇〇死にました！」

「お前、殺すぞ！」

等々のびっくりするような言葉が、次々に飛び出したというのです。

調べてみると、実は、学級で鬼ごっこのような追いかけっこをしていたというのです。鬼ごっこで、鬼にタッチされることを「死ぬ」、鬼がタッチすることを「殺す」と言っていたとのこと。



一か月ほど前、5・6年生とその保護者を対象に、ネットゲームを中心としたスマホ機器の正しい使い方についての学習を行いました。その時の講師の先生が次のような話をされました。「すべてのゲームが一概に悪いとは言えませんが、悪影響もあります。例えば、戦闘系のゲームなどでは、暴力的なシーンが出てきます。そのため、暴力に対する抵抗感や罪悪感がなくなったり、やたらと攻撃的になったり、相手を思いやる心が希薄になったりするケースもあります。また、友だち間のトラブルのもとになることもあります。」と。



この話を聞いて「ひょっとして、子どもたちは、これまで私たちが恐ろしいと感じてきた言葉(死ぬ・殺す等)に対して鈍感になり、平気で生活(遊び)の中で使っているのではないだろうか。」と心配になり、ゲームの功罪についていろいろと調べている中、ちょっと参考になる記事を見つけたので紹介します。

ゲーム考

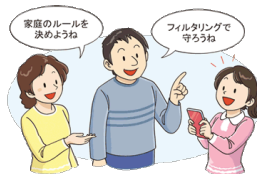


(小学生へのアンケートで一位となったオンラインゲーム)『A』は、子どもを持つ親にとっては少々頭の痛いゲーム。というのも、他のユーザーを武器で倒しながら勝ち進まなければならず、友人やゲーム仲間とボイスチャットをしながら遊ぶ子どもも多いため、言葉づかいが荒くなったりという海外の調査結果もある。

また、衣装や武器、見た目などが有料でカスタマイズできることから、子どもが勝手に課金してしまったり、多額の請求が届いたという報告も少なくない。

加えてゲーム依存になってしまったり、ゲーム内でいじめを受けたり、不適切な関係を求める大人の接触など、子どもへの悪影響に、一抹の不安を覚える親が多いとも言われている。

とはいえ、決してゲームそのものが悪というわけではない。新型コロナウイルスの影響で家に籠もってゲームをして遊ぶ子どもも多いが、子どもがどんなゲームで遊んでいるか、またどんな遊び方をしているか、親がしっかりと見守る必要があるだろう。



※ボイスチャットIIインターネットを使ってやる電話
※カスタマイズII使用者の必要に応じて設定を変更すること

※課金IIお金を支払うことで「さらに別の遊び方ができる」「ゲーム内における特別なものを手に入れることができる」こと

というものです。わかっていただいているとは思いますが、私が言いたいのは、今回の内容は全て保護者の責任です。よと言っているわけではありません。

各家庭の保護者には、**子どもの言葉や仕草、友だちとのかわり方等の微妙な変化に最大限のアンテナを張っていただきたい**ということ。そして、子どもたちが、自己コントロールがまだ十分でないかと判断されれば、目の届かないところではゲームをやらせないなど、ある程度の制限をかけて管理していただくことも必要になってくるかもしれません。

学校としては、暴言を吐いたり、嫌がらせをしたリすれば、これまで同様それは良くないことだと諭していきましますし、そうならないように道徳科の時間や、日頃の会話の中でも話をして、仲間ハズレや悪口が発生してしまわないための対人スキルや心のコントロール力の育成に努めていきます。



また、教室や学校の中でやってはいけないこと言っただけでなく、同じように、社会のルールはゲームの中でもあるという指導していかなければならぬと考えております。

保護者のさらなるご理解、ご協力をよろしく願います。

